



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和6年度

川南原国営施設応急対策事業

通山幹線用水路国道横断部補修工事に伴う建物等事前調査業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
宮崎中部農業水利事業所

相異言語 (21 21)

事業名	川南原国営施設応急対策事業	単価	金額	備考	
業務名	通山幹線用水路国道横断部補修工事に伴う建物等事前調査業務	数量	単位		
業務別業務名:用地調査業務	名 称 (規 格)				
S70062	作業計画の策定 ***** S 単 - 1号 ***** 作業計画の策定				
S71082	事前調査 (木造建物) 事前調査 (木造建物) 木造建物 A, 70m ² 以上130m ² 未満, 建物内部の調査を行わない場合		業務	46,284	歩A・単A
S71082	事前調査 (木造建物) 事前調査 (木造建物) 木造建物 A, 130m ² 以上200m ² 未満, 建物内部の調査を行う場合		棟	128,530	歩A・単A
S71082	事前調査 (木造建物) 事前調査 (木造建物) 木造建物 C, 70m ² 未満, 建物内部の調査を行う場合		棟	276,600	歩A・単A
S71082	事前調査 (木造建物) 事前調査 (木造建物) 木造建物 C, 70m ² 未満, 建物内部の調査を行う場合		棟	120,496	歩A・単A
S71084	事前調査 (非木造建物) 事前調査 (非木造建物) 非木造建物 A, 200m ² 未満, 建物内部の調査を行う場合		棟	150,332	歩A・単A
S71084	事前調査 (非木造建物) 事前調査 (非木造建物) 非木造建物 A, 200m ² 以上400m ² 未満, 建物内部の調査を行う場合		棟	187,242	歩A・単A
S71086	事前調査 (工作物) 事前調査 (工作物) 100m ² 以上300m ² 未満		箇所	117,162	歩A・単A
S71097	地盤変動影響調査等 (現地踏査) 地盤変動影響調査等 (現地踏査)		業務	55,614	歩A・単A
S72006	打合せ協議 (打合せ・移動) 用地調査基準日額		式	84,500	歩A・単A
S72006	現地調査にかかる移動日分の基準日額		式	272,651	歩A・単A
S72008	打合せ (用地調査旅費・交通費) 打合せ (用地調査旅費・交通費)		回	1,882	歩A・単A
X72004	旅費交通費 (用地調査外業日帰用) 旅費交通費 (用地調査外業日帰用)		式	17,598	歩A・単A

事業名	川南原国営施設応急対策事業					
業務名	通山幹線用水路国道横断部補修工事に伴う建物等事前調査業務					
業務別業務名:用地調査業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 1号 ***					
S70062	作業計画の策定		業務		1.000 業務	歩A 当たり算出
	作業計画の策定			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分	歩掛		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04003	主任技師 内業	0.380	人	64,800	24,624	
R04004	技師(A) 内業	0.380	人	57,000	21,660	
	合 計				46,284	1.000 業務 算出数量
	単 価		業務		46,284	
	*** S 単 - 2号 ***					
S71082	事前調査(木造建物)		棟		1.000 棟	歩A 当たり算出
	事前調査(木造建物) 木造建物A, 70m ² 以上130m ² 未満, 建物内部の調査を行わない場合			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分	木造建物A 70m ² 以上130m ² 未満		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)建物延べ面積			深夜時間:0.0		
	3)調査区分	建物内部の調査を行わない場合				
R04004	技師(A) 内業	0.180	人	57,000	10,260	
R04004	技師(A) 外業	0.470	人	57,000	26,790	
R04005	技師(B) 内業	0.560	人	47,200	26,432	
R04005	技師(B) 外業	0.470	人	47,200	22,184	
R04006	技師(C) 内業	0.340	人	38,400	13,056	
R04006	技師(C) 外業	0.470	人	38,400	18,048	
R04007	技術員 内業	0.350	人	33,600	11,760	
	合 計				128,530	1.000 棟 算出数量
	単 価		棟		128,530	
	*** S 単 - 3号 ***					
S71082	事前調査(木造建物)		棟		1.000 棟	歩A 当たり算出
	事前調査(木造建物) 木造建物A, 130m ² 以上200m ² 未満, 建物内部の調査を行う場合			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分	木造建物A 130m ² 以上200m ² 未満		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)建物延べ面積			深夜時間:0.0		
	3)調査区分	建物内部の調査を行う場合				
R04004	技師(A) 内業	0.390	人	57,000	22,230	
R04004	技師(A) 外業	1.010	人	57,000	57,570	
R04005	技師(B) 内業	1.210	人	47,200	57,112	
R04005	技師(B) 外業	1.010	人	47,200	47,672	
R04006	技師(C) 内業	0.730	人	38,400	28,032	
R04006	技師(C) 外業	1.010	人	38,400	38,784	
R04007	技術員 内業	0.750	人	33,600	25,200	
	合 計				276,600	1.000 棟 算出数量
	単 価		棟		276,600	
	*** S 単 - 4号 ***					
S71082	事前調査(木造建物)		棟		1.000 棟	歩A 当たり算出
	事前調査(木造建物) 木造建物C, 70m ² 未満, 建物内部の調査を行う場合			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名	川南原国営施設応急対策事業					
業務名	通山幹線用水路国道横断部補修工事に伴う建物等事前調査業務					
業務別業務名:用地調査業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	1)作業区分 2)建物延べ面積 3)調査区分	木造建物C 70m ² 未満 建物内部の調査を行う場合		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04004	技師 (A) 内業	0.200	人	57,000	11,400	
R04004	技師 (A) 外業	0.440	人	57,000	25,080	
R04005	技師 (B) 内業	0.500	人	47,200	23,600	
R04005	技師 (B) 外業	0.440	人	47,200	20,768	
R04006	技師 (C) 内業	0.260	人	38,400	9,984	
R04006	技師 (C) 外業	0.440	人	38,400	16,896	
R04007	技術員 内業	0.380	人	33,600	12,768	
	合 計				120,496	算出数量 1.000 棟
	単 価		棟		120,496	
	*** S 単 - 5号 ***					
S71084	事前調査 (非木造建物)		棟		1.000 棟	歩A 当たり算出
	事前調査 (非木造建物) 非木造建物八,200m ² 未満,建物内部の調査を行う場合			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分 2)建物延べ面積 3)調査区分	非木造建物八 200m ² 未満 建物内部の調査を行う場合		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04004	技師 (A) 内業	0.240	人	57,000	13,680	
R04004	技師 (A) 外業	0.540	人	57,000	30,780	
R04005	技師 (B) 内業	0.620	人	47,200	29,264	
R04005	技師 (B) 外業	0.540	人	47,200	25,488	
R04006	技師 (C) 内業	0.380	人	38,400	14,592	
R04006	技師 (C) 外業	0.540	人	38,400	20,736	
R04007	技術員 内業	0.470	人	33,600	15,792	
	合 計				150,332	算出数量 1.000 棟
	単 価		棟		150,332	
	*** S 単 - 6号 ***					
S71084	事前調査 (非木造建物)		棟		1.000 棟	歩A 当たり算出
	事前調査 (非木造建物) 非木造建物八,200m ² 以上400m ² 未満,建物内部の調査を行う場合			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分 2)建物延べ面積 3)調査区分	非木造建物八 200m ² 以上400m ² 未満 建物内部の調査を行う場合		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04004	技師 (A) 内業	0.300	人	57,000	17,100	
R04004	技師 (A) 外業	0.670	人	57,000	38,190	
R04005	技師 (B) 内業	0.770	人	47,200	36,344	
R04005	技師 (B) 外業	0.670	人	47,200	31,624	
R04006	技師 (C) 内業	0.480	人	38,400	18,432	
R04006	技師 (C) 外業	0.670	人	38,400	25,728	
R04007	技術員 内業	0.590	人	33,600	19,824	
	合 計				187,242	算出数量 1.000 棟
	単 価		棟		187,242	
	*** S 単 - 7号 ***					

事業名	川南原国営施設応急対策事業					
業務名	通山幹線用水路国道横断部補修工事に伴う建物等事前調査業務					
業務別業務名:用地調査業務						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
S71086	事前調査(作物物)		箇所		1,000 箇所	歩A 当たり算出
	事前調査(作物物) 100m ² 以上300m ² 未満			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分 2)敷地面積	歩掛 100m ² 以上300m ² 未満		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04004	技師(A) 内業	0.180	人	57,000	10,260	
R04004	技師(A) 外業	0.430	人	57,000	24,510	
R04005	技師(B) 内業	0.380	人	47,200	17,936	
R04005	技師(B) 外業	0.430	人	47,200	20,296	
R04006	技師(C) 内業	0.440	人	38,400	16,896	
R04006	技師(C) 外業	0.430	人	38,400	16,512	
R04007	技術員 内業	0.320	人	33,600	10,752	
	合 計				117,162	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		117,162	
	*** S 単 - 8号 ***					
S71097	地盤変動影響調査等(現地踏査)		業務		1,000 業務	歩A 当たり算出
	地盤変動影響調査等(現地踏査)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分	歩掛		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04004	技師(A) 外業	0.390	人	57,000	22,230	
R04005	技師(B) 外業	0.390	人	47,200	18,408	
R04006	技師(C) 外業	0.390	人	38,400	14,976	
	合 計				55,614	算出数量 1.000 業務
	単 価		業務		55,614	
	*** S 単 - 9号 ***					
S72006	打合せ協議(打合せ・移動)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	用地調査基準日額			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技師の人数 2)技師Aの人数	1,000人 1,000人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)技師Bの人数 4)技師Cの人数	1,000人 0,000人		深夜時間:0.0		
	5)技師Dの人数 6)打合せ日数	0,000人 0,500日				
	7)往復移動日数	0,000日				
R04003	主任技師	0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師(A)	0.500	人	57,000	28,500	
R04005	技師(B)	0.500	人	47,200	23,600	
	合 計				84,500	算出数量 1.000 式
	単 価		式		84,500	
	*** S 単 - 10号 ***					
S72006	現地調査にかかる移動日分の基準日額		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	用地調査基準日額			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技師の人数 2)技師Aの人数	0,000人 6,830人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)技師Bの人数 4)技師Cの人数	6,830人 6,830人		深夜時間:0.0		

事業名	川南原国営施設応急対策事業					
業務名	通山幹線用水路国道横断部補修工事に伴う建物等事前調査業務					
業務別業務名:用地測量業務						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 1号 ***					
S61010	3級水準測量(レベル等による) 3級水準測量(レベル等による) 道路上,平地,耕地,-0.10		km		5,000 km	歩A 当たり算出
	1)地域差 2)地形	道路上 平地		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	制約作業時間:0.0 夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし 超勤時間:0.0
	3)地物 4)地形個別補正	耕地 -0.10		深夜時間:0.0		
R04022	測量主任技師 内業	0.200	人	54,600	10,920	
R04023	測量技師 内業	0.700	人	47,100	32,970	
R04023	測量技師 外業	1.400	人	47,100	65,940	
R04024	測量技師補 内業	0.700	人	36,900	25,830	
R04024	測量技師補 外業	1.400	人	36,900	51,660	
R04025	測量助手 外業	2.400	人	34,600	83,040	
Y00004	機械経費 3.5%	0.035		270,360	9,463	
Y00004	通信運搬費等 0.5%	0.005		270,360	1,352	
Y00004	材料費 1.5%	0.015		270,360	4,055	
	合 計				285,230	5.000 km 算出数量
	単 価		km		51,341	
Y70001	精度管理費	0.090		279,823	25,184	
	*** S 単 - 2号 ***					
S61024	水準点設置(永久標識以外)		点		6,000 点	歩A 当たり算出
	水準点設置(永久標識以外)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)水準点設置(永久標識以外)	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	冬期補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04023	測量技師 外業	0.300	人	47,100	14,130	
R04024	測量技師補 内業	1.000	人	36,900	36,900	
R04024	測量技師補 外業	1.200	人	36,900	44,280	
R04025	測量助手 内業	0.800	人	34,600	27,680	
R04025	測量助手 外業	0.300	人	34,600	10,380	
R04032	測量補助員 外業	0.600	人	25,900	15,540	
Y00004	機械経費 1.5%	0.015		148,910	2,234	
Y00004	通信運搬費等 4.5%	0.045		148,910	6,701	
Y00004	材料費 3.0%	0.030		148,910	4,467	
	合 計				162,312	6.000 点 算出数量
	単 価		点		27,052	
Y70001	精度管理費	0.090		151,144	13,603	
	*** S 単 - 3号 ***					
S72005	現地作業にかかる移動日分の基準日額		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	用地測量基準日額			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)測量主任技師の人数 2)測量技師の人数	0.000人 0.130人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	冬期補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)測量技師補の人数 4)測量助手の人数	0.430人 0.151人		深夜時間:0.0		
	5)測量補助員の人数 6)打合せ日数	0.200人 0.000日				
	7)往復移動日数	0.280日				

令和6年度
川南原国営施設応急対策事業
通山幹線用水路国道横断部補修工事に伴う
建物等事前調査業務

特 別 仕 様 書

九州農政局宮崎中部農業水利事業所

(適用範囲)

第1条 この特別仕様書は、令和6年度川南原国営施設応急対策事業通山幹線用水路国道横断部補修工事に伴う建物等事前調査業務（以下「本業務」という。）に適用する。

2 本業務は、用地調査等共通仕様書（以下「共通仕様書」という。）及び地盤変動影響調査算定要領（以下「要領」という。）によるほか、この特別仕様書により実施する。

(業務概要等)

第2条 本業務は、当該工事の施工によって不可避的に発生する工事振動等により損傷等が生じるおそれがある建物等について、現状を把握することを目的として事前調査を実施するものである。

2 本業務の概要は、次のとおりである。

(1) 実施場所

宮崎県児湯郡川南町及び高鍋町地内（別紙業務位置図のとおり）

(2) 作業項目及び内容

地盤変動影響調査等（事前調査）：別紙作業数量のとおり

なお、作業数量については、今後の状況により変更となる場合がある。

(指示事項)

第3条 本業務の実施にあたり、関係者をみだりに刺激するような行為はもとより、調査によって知り得た内容を他に漏らしたり調査書を他に転用したりしてはならない。

なお、調査に際しては、権利者等へ調査中の立ち会いを求めるものとし、権利者等の都合により常時立ち会いが出来ない場合には、その旨を記載した書面に記名を求めるものとする。

2 事前調査等実施にあたっての指示事項は、次のとおりである。

（1）損傷箇所は、すべて図示、鮮明に区別出来るよう記録写真をとること。

（2）事前調査は、工事完了後の事後調査を前提とし、現状における建物等の実態を調査把握するものであり、測定位置、損傷箇所は記号、番号を付すること。

（3）建物全ての壁面について、内部は1. 2 m程度の範囲、外部は2 m程度の範囲で分割した記録写真を撮ること。

（4）写真撮影にあたっては、要領第10条に記載のとおり、改ざん（修正、書き込み、削除等）の防止措置を講じたうえで、写真を撮影するものとする。

(成果物等)

第4条 提出する成果物及び提出部数等は、下記のとおりとする。

(1) 事前調査書等

- | | |
|--------------------|-------------------------------------|
| ① 調査区域位置図 | 正、副本各1部(A4綴じ込み)、電子データ正、副各1部(DVD-R等) |
| ② 調査区域平面図 | 〃 |
| ③ 建物等調査一覧表 | 〃 |
| ④ 水準測量（観測手簿、計算簿等） | 〃 |
| ⑤ 建物等調査書（総括表） | 〃 |
| ⑥ 建物等調査書（平面図、立面図等） | 〃 |
| ⑦ 損傷調査書 | 〃 |
| ⑧ 写真台帳 | 〃※1 |
| （2）その他必要な資料 | 1式 |

〃※2

※1 正本には電子記録媒体及び縮小画像一覧を添付。副本にはプリント（A4両面印刷）を添付。

※2 撮影した画像をPDF化する。

2 成果物の提出先は、次のとおりとする。

宮崎県宮崎市生目台東4丁目6-1

九州農政局宮崎中部農業水利事業所

（管理技術者及び打合せ）

第5条 管理技術者の要件は、共通仕様書第1章第8条3によるものとする。

ただし、低入札業務における品質確保対策の施行により定められた割合を予定価格に乗じて求めた価格を下回る価格で契約した場合においては、管理技術者は屋外で行う調査の実施に際して現場に常駐するとともに作業日ごとに業務内容を監督職員に報告しなければならない。

なお、管理技術者が現場での常駐を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

2 本業務の実施にあたっては、次の段階で打合せを行うものとし、出席者は管理技術者他2名以上とする。

初回 業務に着手の段階

最終回 成果物作成の段階

ただし、低入札業務における品質確保対策の施行により定められた割合を予定価格に乗じて求めた価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象としない。

その際、管理技術者は、共通仕様書第42条に定める作業計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

（低入札価格契約における第三者照査）

第6条 低入札業務における品質確保対策の施行により定められた割合を予定価格に乗じて求めた価格を下回る価格で契約した場合においては、受注者は「業務請負契約書第11条照査技術者」及び「共通仕様書第9条照査技術者及び照査の実施」については、受注者が自ら行う照査とは別に、受注者の責任において共通仕様書等を基本とする第三者の照査（以下「第三者照査」という。）を実施しなければならない。

2 第三者照査の企業に要求される資格

- (1) 予決令第98条において準用する予決令第70条及び第71条の規定に該当していないこと。
- (2) 九州農政局において、令和5・6年度（当該業種区分）の一般競争（指名競争）参加資格の認定を受けていること
- (3) 九州農政局長から、測量・建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 共通仕様書第30条守秘義務を遵守できるものであること。
- (5) 中立的、公平な立場で照査が可能であること。なお、第三者照査を実施するものは受注者との関係において、以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。

① 資本関係

- (ア) 親会社と子会社の関係にある。
- (イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある。

② 人的関係

- (ア) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている。

3 第三者照査を行う照査技術者に要求される資格

第三者照査を行う照査技術者は、受注者が配置する照査技術者と同等の能力と経験を有する以下の者のいずれかであること。

- ① 照査技術者と同等の同種又は類似業務実績を有する者
- ② 照査技術者と同等の技術者資格を有する者

4 照査技術者の通知

受注者は、自ら行う照査の他に、第三者照査を行う照査技術者を定め発注者に通知するものとする。

5 照査計画

受注者は、第三者の照査方法については、自ら行う照査と併せて業務工程表に照査計画として、具体的な照査時期、照査事項等を定めなければならない。

また、照査結果については、その都度監督職員に報告しなければならない。

6 成果物のとりまとめ段階時打合せへの立会い

本特別仕様書第5条第2項に示す打合せのうち、成果物のとりまとめ段階での打合せ時には、第三者照査を行う照査技術者も立ち会うものとする。

7 第三者照査の照査技術者のAGRIS登録

共通仕様書第12条の農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービス（AGRIS）の登録にあたっては、第三者照査を行った照査技術者の実績登録は認めない。

8 契約不適合責任

引き渡された成果物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないもの（以下「契約不適合」という。）であるときは、業務請負契約書第41条契約不適合責任のとおり、受注者に対し、成果物の修補又は代替物の引渡しによる履行の追完を請求することができるものであり、第三者照査を実施したもののが責任を負うものではない。

（情報共有システム（業務））

第7条

- （1）本業務は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより事務の効率化を図る情報共有システムの対象業務である。
- （2）情報共有システムは「工事及び業務の情報共有システム活用要領」（農林水産省 Web サイト参照）によるものとする。
- （3）受注者は、発注者から技術上の問題の把握、利用にあたっての評価を行うために聞き取り調査等を求められた場合、これに協力しなければならない。

（契約変更）

第8条 業務請負契約書第18条から第21条に規定する協議事項は、下記のとおりとする。

- （1）本特別仕様書第2条第2項に示す「実施場所」、「作業項目及び内容」に変更が生じた場合
- （2）本特別仕様書第4条第1項に示す「成果物」及びこの数量に変更が生じた場合
- （3）本特別仕様書第5条第2項に示す「打合せ回数」に変更が生じた場合

（疑義）

第9条 本特別仕様書に疑義を生じたとき又は定めのない事項については、監督職員の指示を受けるものとする。

別紙

作業数量

業務施行場所：宮崎県児湯郡川南町及び高鍋町地内

歩掛り：農林水産省監修による土地改良事業用地調査等請負業務事務処理要領による

用地調査業務

項目	規格	数量	単位	備考
作業計画の策定		1	式	
地盤変動影響調査等（現地踏査）		1	式	
事前調査（木造建物）	木造建物 A 70m ² 以上 130m ² 未満	1	棟	建物内部調査 は対象外
事前調査（木造建物）	木造建物 A 130m ² 以上 200m ² 未満	3	棟	
事前調査（木造建物）	木造建物 C 70m ² 未満	1	棟	
事前調査（非木造建物）	非木造建物ハ 200m ² 未満	1	棟	
事前調査（非木造建物）	非木造建物ハ 200m ² 以上 400m ² 未満	1	棟	
事前調査（工作物）	100m ² 以上 300m ² 未満	3	箇所	

用地測量業務

項目	規格	数量	単位	備考
3級水準測量	道路上、平地、耕地	0.118	km	
水準点設置（永久標識以外）		2	点	

113° 23' 38.23"

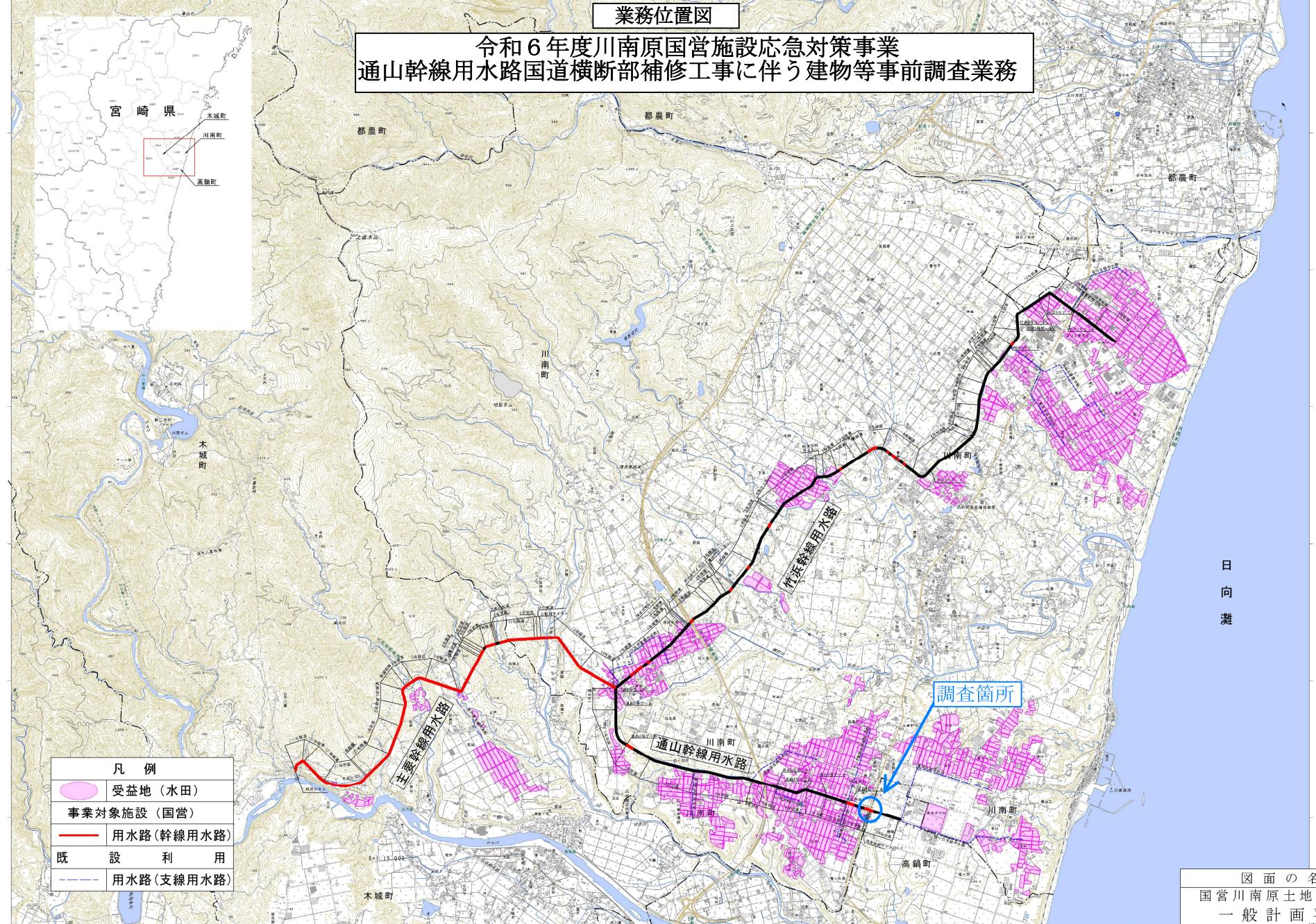
一般計画平面図

A1: S=1/25,000 A3: S=1/50,000



業務位置図

令和6年度川南原国営施設応急対策事業
通山幹線用水路国道横断部補修工事に伴う建物等事前調査業務



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(承認番号)

図面の名称
国営川南原土地改良事業 一般計画平面図
縮尺 S=1/25,000(A1) S=1/50,000(A3)

図面番号 1 1葉の内 1枚